

第20回 西日本国際財団アジア貢献賞審査委員会ノミネート団体・個人一覧

■有光 武元 氏

活動開始：2003年
活動地域：フィリピン・福岡県北九州市

陶芸家として、マニラで洋食器工場の立ち上げに関わった際にフィリピンの離島や山間部における教育や貧困、衛生などの問題を知り、支援活動を開始。4つの高等教育機関に奨学金制度の創設、4つの学校に図書室を、ストリートチルドレンの収容施設に井戸・トイレを、火山噴火の被災地区に教育用宿舎を建設し、農業支援を行うなど支援を続けている。

■いさはや国際交流センター

会 長：荒木 隆 氏
設 立：1990年
活動地域：長崎県諫早市

多良見町の企業の外国人研修生の暮らしやすい町づくりを目指して、町民との交流を図り、前身の「多良見町ホームステイ協会」を設立。以来、ホームステイの受け入れを根幹としながら、内閣府の「東南アジア青年の船事業」、外務省の対日理解促進交流プログラム「JENESYS」等を積極的に受け入れ、多彩な国際交流活動を行っている。

■大分工業高等専門学校 足踏みミシンボランティア部

代 表：田中 孝典 氏
設 立：2003年
活動地域：東南アジア、大分県大分市

2003年に大分県国際交流機構がボランティアの一環として取り組んでいた活動に、足踏みミシンの修理依頼があったことがきっかけとなり、校内有志を募り発足。大分県内外の家庭から寄贈された古く壊れた足踏みミシンを学生たちで修理し、自己負担で現地に持ち込み、修理方法などを継続的に教えている。活動を通じて学生たちの技術向上、国際感覚の醸成につなげている。

■しものせき国際交流ねっと

代 表 者：石井 由利子 氏
設 立：2011年
活動地域：山口県下関市及び近郊

2010年に山口県国際交流協会下関分室が閉鎖されたことを機に、積極的な異文化交流や国際的人材の育成をすべく、市民自らが中心となって設立。市民による国際交流の推進、フェアトレード商品の販売など国際協力の機会と情報の提供、異文化理解講座の実施、在住外国人の支援につながる講座や日本語教育などを行政に頼らず市民の根で行っている。

■NPO 法人シャンティ山口

代 表 者：角 直彦 氏
設 立：1993年
活動地域：タイ、山口県周南市

曹洞宗ボランティア会の会員や市民の有志によって設立。タイ北部ラオス国境地帯の山岳民族に対し、奨学金支給と学生寮運営などの教育支援事業、高齢者福祉、伝統文化継承、保育園支援、環境・保健衛生、森林修復、農村開発などの自立支援事業、スタディーツアーや募金活動などの国際交流・国際協力活動を行っている。

■沙羅の樹 基金

代 表 者：星野 人史 氏
設 立：2015年
活動地域：ミャンマー、沖縄県那覇市

那覇市在住のミャンマー人夫婦の「珊瑚舎スコレのような考える教育をする小学校をミャンマーに作りたい」との発言をきっかけに様々な支援をしてきたが、2015年に当基金を設立し、夫婦が貧困層を対象に設立した私立学校の運営を資金面で支援し、将来夫婦がミャンマーに戻って日常的に学校に携われるのを目標に活動を続けている。

■福岡帰国留学生交流会

会 長：林 安徳 氏
設 立：1993年
活動地域：アジア各国、福岡県福岡市

タイの元福岡留学生との交流を機に発足。以後毎年福岡で学んだ元留学生の祖国を訪れ、彼らの職場や学校で懇親会や意見交換会を開催。訪問数は24回に上り、現地の同窓会組織の発足や、アジアの留学生に対する日本人の蔑視感や欧米一辺倒の傾向を見直すきっかけや留学生交流に携わる人にその意義を認識してもらおうなどの成果を生んだ。

■松本 敏秀 氏

設 立：2011年
活動地域：ミャンマー、カンボジア、福岡県福岡市

ミャンマーで歯科医院を開業し、同国の人々の健康づくりに力を入れていたミャンマー人の友人の妻である日本人歯科医の遺志を継ぎ、同国でのボランティア歯科活動を開始。1年の半分以上をミャンマーで過ごし、貧困地区や少数民族を対象に、チャリティ歯科治療をはじめ、デンタルケア、健康指導など地方を精力的に巡回して行っている。

■弓場 秋信

活動開始：1972年
活動地域：東南アジア、鹿児島県

1972年から2年間青年海外協力隊として訪れたマレーシアでの活動で感じたことをきっかけに、帰国後1990年に3つの国際交流団体を束ねて鹿児島県青少年国際協力体験事業実行委員会を結成。年に約15人の中高生を東南アジアに派遣する活動は27回に上る。1997年には「いっしょに学校を作りもんそ会」を結成し、カンボジアでの学校建設、教育や農業支援を継続している。このような様々な国際協力、国際交流を通じた鹿児島県内の青少年育成のリーダーとして精力的に活動している。

※上記9団体は第20回アジア貢献賞に推薦された18団体・個人の中から候補者選考委員会（第1次審査）にて審査委員会の審査対象としてノミネートされた先です。

（五十音順）

第14回 西日本国際財団アジアKids大賞審査委員会ノミネート団体・個人一覧

■愛の泉保育園・愛の泉学童クラブ

設 立：2012年
園 長：金城 キヨ子 氏
活動地域：ミャンマー、沖縄県沖縄市

園の設立当初から続けている子どもたちによる地域清掃活動「クリーン隊」の活動を通して「思いやりの心」「優しくする心」「モノを大切にする心」を育みながらアジアの子どもたちの支援に関わることができないかと考え、同活動や家庭で出た空き缶の換金や募金活動を開始。現在までに6基の井戸をミャンマーに寄付し、子どもたちの心の交流に発展している。

■能古島青少年育成協会

代 表 者：伊高 哲郎 氏
活動開始：2010年
活動地域：アジア各国、福岡県福岡市

伊高代表が青年海外協力隊としてヨルダンで活動した際に感じたことをきっかけに活動を開始。2010年から国際NGOなどの話を組み入れた「能古島自然教室」の開催や能古島の中学生野球チームと中国の野球チームの交流を通して国際人の育成に取り組み、2015年からは国際協力に関わる15団体が参画する「国際交流フェスティバルin能古島」を開催し、国際協力への啓発を行っている。

※上記2団体は第14回アジアKids大賞に推薦された5団体の中から候補者選考委員会（第1次審査）にて審査委員会の審査対象としてノミネートされた先です。

（五十音順）

数字はノミネート時のものです。